

令和2年度伊勢崎市立広瀬小学校・英語教育課程特例校の取組について

広瀬小学校では、多文化共生の実現やグローバルな視野を持った人材の育成に向け、「教育課程特例校（英語教育）」として、6年一貫した英語教育を推進しています。

英語科・年間授業時数

1年	68時間（特例）	4年	70時間（特例）
2年	70時間（特例）	5年	70時間（通常）
3年	70時間（特例）	6年	70時間（通常）

* 1年～6年まで英語科として実施しています

* 1年～4年までは、15分×3回／週の短時間学習を含んでいます

1 英語科の指導方針

- 体験的に音声やリズム、文字に慣れ親しませるとともに基本的な表現について聞いたり、話したりできるようにする。
- ALTや英語指導助手を活用し、英語を使って自分の考えを伝え合う楽しさや自己表現できたという達成感や成就感を感じることをできるようにする。

2 自己評価結果

(1) 児童

- ①「英語学習は楽しい」と答えた児童・・・79%
- ②「英語学習の内容はよく分かる」と答えた児童・・・83%
- ③「英語学習に自ら進んで取り組んでいる」と答えた児童・・・74%
- ④「中学校での英語学習は楽しみ」と答えた6年児童・・・47%

(2) 教員

- 「英語の授業では市共通展開例や教材教具を活用し、ALTや英語指導助手と役割分担を明確にして指導を進めている」と答えた教職員・・・80%以上

3 学校関係者評価結果

- 児童は英語特有の音やリズムを大切にしながら、楽しく英語学習することができた。今後も児童が英語学習に積極的に取り組めるよう、コミュニケーション活動のより一層の充実を図って欲しい。